I-O DATA

AVeL Link Player

取扱説明書

AV-LS500VB

B-MANU201179-01

もくじ

お使いになるまでの流れ..... 4
必ずお守りください..... 5

はじめに..... 9
箱の中には..... 10
使用上のご注意..... 11

セットアップしよう..... 13
設置する..... 14
全体図..... 14
必要なもの..... 15
テレビとつなぐ..... 16
サーバーとつなぐ..... 17
インターネットとつなぐ..... 17
USB ストレージとつなぐ..... 18
リモコンを準備する..... 19
電池の入れ方..... 19
リモコンの操作範囲..... 19

使ってみよう 21
コンテンツを再生する 22
コンテンツを保存する 22
再生する 22

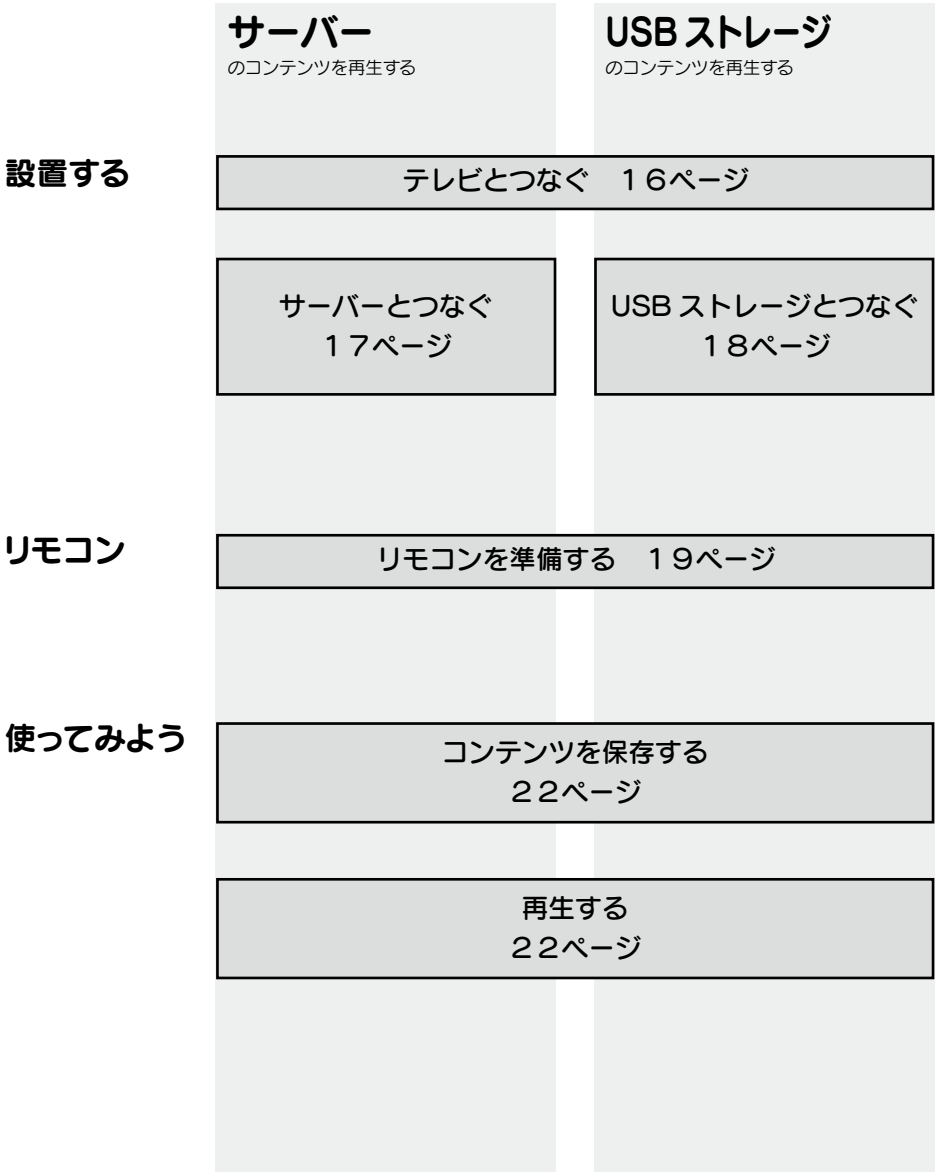
こんなときは 27
ファームウェアを更新する 28
各種設定（アスペクト比、音声など）をする 30
ネットワークの設定をする 33
ネットワークを確認する 34
設定を初期化する 35

困ったときには 37

付録 41
各部の名称 42
画面の詳細 46
スライドショーに BGM を流す 51
サーバーにコンテンツを保存する 55
Windows Media Player 11 の設定 59
エラー表示一覧 62
製品仕様 63
お問い合わせ 65

お使いになるまでの流れ

本製品をお使いになるまでの流れを説明します。
使いたい機能に合わせて、セットアップを行ってください。



必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

表示内容と絵記号の意味

表示内容

表示	意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

絵記号	意味
	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
	この記号は禁止の行為を告げるものです。
	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠ 危険


分解禁止

本製品を修理・分解・改造しないでください

火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠ 警告


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください

万一異常が発生した場合は電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


禁止

装置内部へ異物を入れないでください

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、触れると危険です。


禁止

本機の上に乗らないでください

倒れたり、壊れたりしてけが、故障の原因になります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。


水ぬれ禁止

水でぬらさないでください

雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は特にご注意ください。


禁止

落下などによる衝撃を与えた場合は、使わない

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


厳守

AC アダプターについて


感電注意


発火注意

- 必ず添付の AC アダプターを使用してください。
- 添付 AC アダプターは本製品専用であり、他の機器に取り付けないでください。
- ケーブル部分を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具の側では使わないでください。
- AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- AC アダプターにものを載せたり、かぶせたりしないでください。
- 保温･保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- 本製品を長時間使わない場合は、AC アダプターを抜いてください。
  AC アダプターを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
- AC アダプターは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。本製品に添付の AC アダプターは AC100V 専用です。
- AC アダプターを本製品から取り外す場合は、必ずコンセント側から取り外してください。感電の原因となります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 電源プラグが抜けやすくなるため、コンセントの周りには物を置かないようにしてください。


禁止

本機の上に物を置かない

本機が破損し、火災・感電の原因になります。
特に、花びん、植木鉢、液体の入った容器が倒れた場合、火災・感電の原因となります。
もし内部に物が入った場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。


禁止

本機は下記のような場所で使用しない

故障の原因になります。

- ●水分や湿気の多いところ
- ●震動や衝撃の加わるところ
- ●温度差の激しいところ
- ●直射日光の当たるところ
- ●ほこりの多いところ
- ●不安定なところ
- ●熱器具の近く
- ●締め切った自動車など、高温になるところ
- ●風通しの悪いところや狭いところ（上 5cm ほど空ける）


厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。いきなり電源をオンにせず、使用場所で数時間放置してからお使いください。


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり体や衣服に付くと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

液が目に入ったとき	目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
液が体や衣服に付いたとき	すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。


厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください


禁止

電池で以下のことにご注意ください

液が漏れて、けがややけどの原因になります。

- ●充電しない
- ●（＋）（－）を逆に使用しない
- ●金属類で（＋）（－）を短絡させない
- ●はんだ等を使用しない
- ●くぎ等を刺さない
- ● 60℃以上の場所に放置しない
- ●車中に放置しない
- ●定格条件以外での使用をしない
- ●火の中に入れない
- ●加熱・分解・改造しない
- ●水で濡らさない
- ●異なる乾電池を混ぜて使わない
- ●電子レンジ、オーブンに入れない
- ●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばない
- ●新しい電池と使用済み電池を混ぜない


禁止

電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意


電源プラグを抜く

金属などの端面への接触

本体の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。


厳守

ケーブルについて

●ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因となります。
●ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具の側に配線しないでください。ケーブル被膜が破れ、接触不良などの原因になります。


厳守

決められた設置をしてください

本機を横倒し、逆さまなどに設置しないでください。


禁止

不安定な場所に置かない

傾いた場所などの不安定な場所に置くと、倒れたり落ちたりして、けがの原因となります。


厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池をリモコンから取り出してください

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因になります。万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。


禁止

接続したままで移動しない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
電源コードやアンテナ線、接続コードを外したことを確認してから移動してください。


禁止

本機でデータ通信中に電源をオフにしない

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

はじめに

本製品をお使いになる前に、まずは本章をご覧になり、内容物や使う際のご注意をご確認ください。

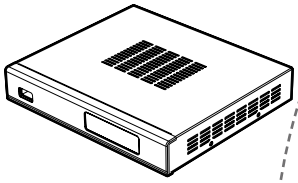
箱の中には 10
使用上の注意 11

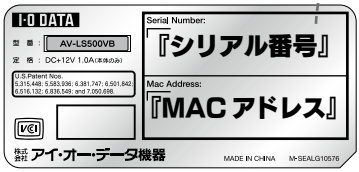
箱の中には
使用上の注意

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックを付けながら、ご確認ください。

□ 本体（1台）





ユーザー登録をお願いします

① ユーザー登録に必要なシリアル番号 (Serial Number) をメモします。

② ユーザー登録ページでユーザー登録します。
http://www.iodata.jp/regist/

□ リモコン（1個）



□ リモコン用乾電池（2個）
［単四形乾電池：動作確認用］



□ LAN ケーブル（1本）
［約 2m］

□ AV ケーブル（1本）
［約 1.5m］

□ AC アダプター（1個）

☑ AV-LS500VB
取扱説明書（1冊）［本書］

□ AV-LS500VB かんたん
再生マニュアル（1枚）

□ 保証書（1枚）

※ 箱・梱包材は、大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
※ イラストは、実物と若干異なる場合があります。

使用上のご注意

本製品をお使いになる上で、ご注意いただきたい内容を記載しています。
本製品をお使いになる前にご覧ください。

本製品の電源を ON にした際は

本製品をインターネット環境につないでいる場合、ファームウェア更新の案内が表示されることがあります。
そのような場合は、【ファームウェアを更新する】（28 ページ）の操作を行ってください。
ファームウェアの更新には約 20 分ほどかかります。
※ ご利用のネットワーク環境により、かかる時間は前後します。

ラジオやテレビジョン受信機に近づけて使わない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

AC アダプターを抜く際は

AC アダプターを本製品から抜いたり、電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、以下のようにしてください。
① リモコンの電源ボタンを押し、本製品の電源をオフにする。
② 待機ランプ（STANDBY）が点灯したことを確認する。
③ AC アダプターを抜く。
※ 電源がオンになっている状態で AC アダプターを抜くと、故障の原因となります。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

MEMO

セットアップしよう

本章では、本製品を使うために必要な設置、設定について説明します。

設置する 14
本製品を設置し、テレビやインターネットにつなぐ方法を説明します。

リモコンを準備する 19
リモコンに電池を入れる方法、リモコンの操作範囲について説明します。

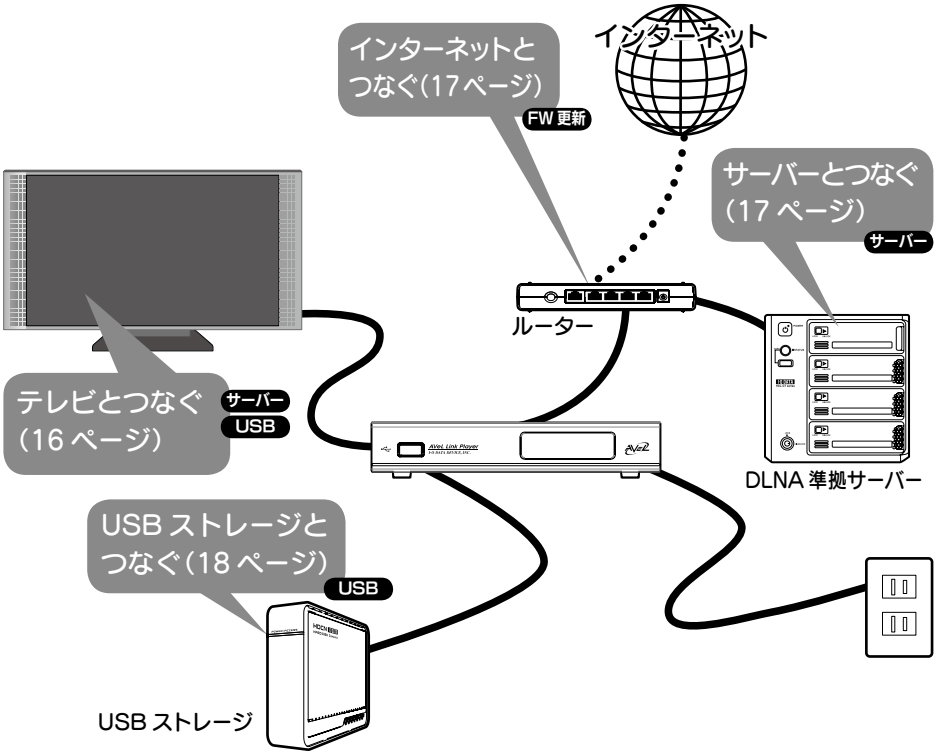
設置する

まずは、本製品を設置します。
お使いになる機能に合わせて、設置・接続してください。

全体図	本ページ	インターネットとつなぐ	17 ページ
必要なもの	次ページ	USB ストレージとつなぐ	18 ページ
テレビとつなぐ	16 ページ		
サーバーとつなぐ	17 ページ		

全体図

設置の全体図をご覧になり、必要な設置・接続を行ってください。



サーバー サーバーのコンテンツを再生する
USB USB ストレージのコンテンツを再生する
FW 更新 ファームウェアを更新する

必要なもの

必要なものを揃えてから、設置を行ってください。

テレビとつなぐ	・テレビとつなぐためのケーブル - AV ケーブル（添付） - HDMI ケーブル（別途用意） - 光音声ケーブル（別途用意）
インターネットとつなぐ	・LAN ケーブル（添付） ・ルーター（すでにセットアップされたもの）
サーバーとつなぐ	・LAN ケーブル（添付＋別途用意） ・ルーター（すでにセットアップされたもの） ・サーバー（別途用意：63 ページ）
USB ストレージとつなぐ	・USB ストレージ（別途用意：63 ページ） ・USB ケーブル（別途用意）
電源コンセントとつなぐ	・AC アダプター（添付）

テレビとつなぐ

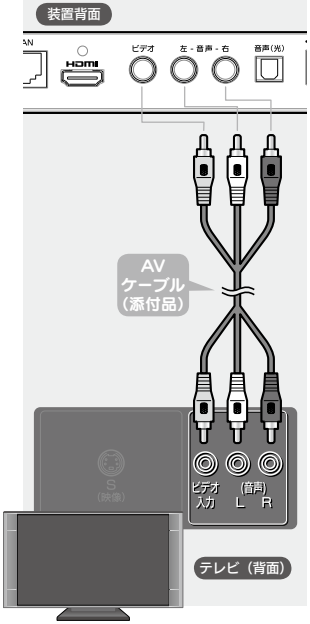
サーバー USB

本製品とテレビをつなぎます。

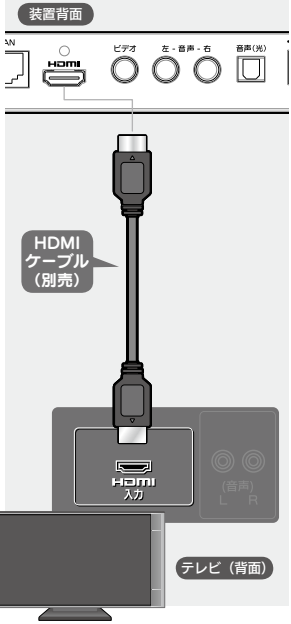
テレビとつなぐ前に、本製品を電源コンセントにつながない

標準画質 **最高画質**

AV ケーブルで接続



HDMI ケーブルで接続



光デジタルでつなぐ

光デジタル入力をサポートしているテレビ・AV アンプの光デジタル入力と、音声（光）をつなぎます。光デジタル音声出力は、高品位な音声を提供します。



Macrovision 著作権保護機能について

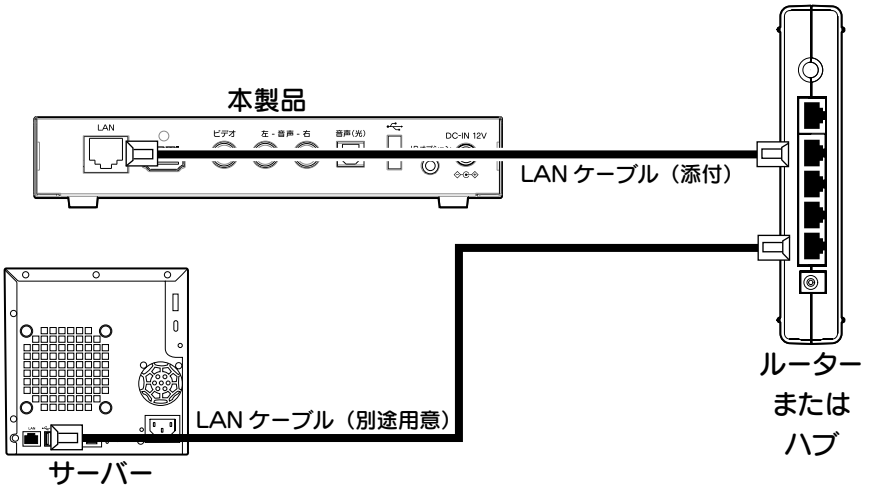
1. “If degraded picture quality is observed while viewing copy-protected VOD movies connect the set-top box directly to the TV set. Do not connect through a VCR.”
2. “Do not connect the unit through a VCR. Video signals fed through VCRs may be affected by copyright protection systems and the picture will be distorted on the television.”
   or
3. “Connecting your TV directly to the Audio/Video output of your Set-Top-Box will assure a more vivid picture and enhance your viewing enjoyment.”

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。 また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

サーバーとつなぐ

サーバー

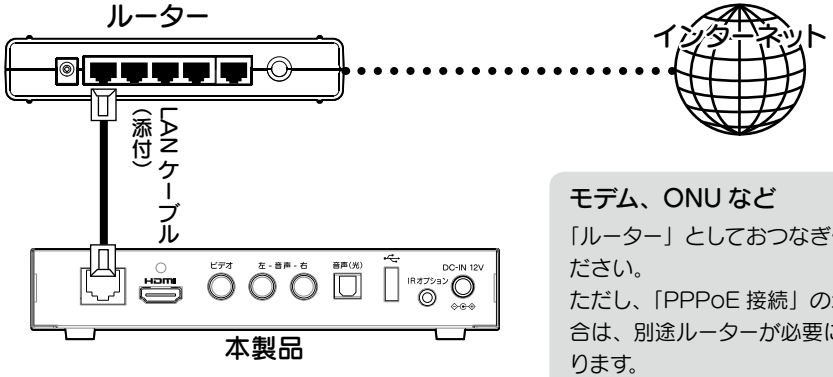
本製品とサーバーを、ルーターまたはハブを通じてつなぎます。



インターネットとつなぐ

FW 更新

本製品ではファームウェアを更新するために、インターネットを利用します。



モデム、ONU など

「ルーター」としておつなぎください。
ただし、「PPPoE 接続」の場合は、別途ルーターが必要になります。

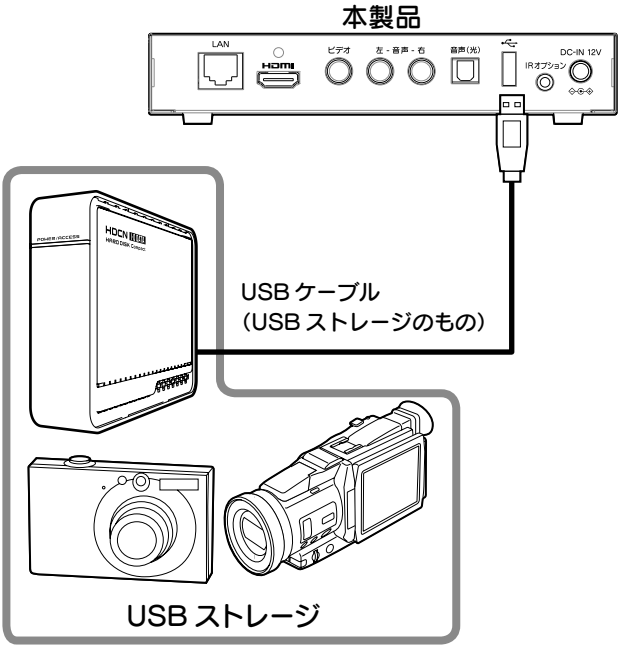
インターネットとつながない場合

○インターネットとつながなくても、サーバーからのコンテンツ再生は問題なく行えます。
○本製品を最新の機能でお使いいただくため、インターネットにつないで、半年に一度は最新ファームウェアの確認をお願いいたします。

■USB ストレージとつなぐ

USB

本製品と USB ストレージをつなぎます。



ポータブル HDD をつなぐ際は、AC アダプターを使うことをおすすめします

対応 USB ストレージ

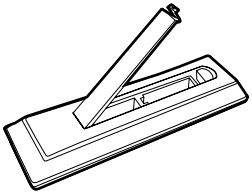
63 ページをご覧ください。

リモコンを準備する

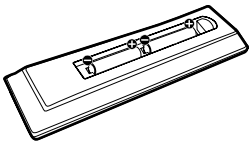
本製品にはリモコンが添付されています。
リモコンに電池を入れる方法と、リモコンで操作できる範囲について説明します。

電池の入れ方

1 ふたを開ける



2 ⊕ ⊖を確認し、電池を入れます。



添付の乾電池について

添付の単四形乾電池は動作確認用のものです。
お使いの際は、新しい単四形乾電池を別途ご用意ください。

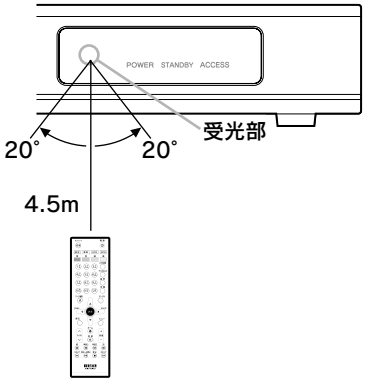
乾電池の取り扱い

以下のことにご注意ください。
リモコンの動作不良や故障の原因となります。

- 極性（⊕ ⊖）を逆にしない
- 指定された乾電池（単四形）以外を使わない
- 交換の際は、必ず二本とも新しい電池に交換する

リモコンの操作範囲

リモコン操作は、リモコン受光部から 4.5m、上下･左右に 20 度までで行ってください。



リモコン操作が効かない場合

【リモコンの操作が効かない】（39 ページ）をご覧ください。

MEMO

使ってみよう

本製品を使って、サーバーやUSBストレージに保存したコンテンツを再生する方法を説明します。

コンテンツを再生する..... 22
サーバーやUSBストレージがつながっている場合（17、18ページ）、それらに保存したコンテンツを再生できます。

お客様により良いサービスをより多く提供させていただくために、機能追加やファームウェアの更新を有償で提供させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

コンテンツを再生する

本製品とサーバーやUSBストレージがつながっている場合（17、18ページ）、それらに保存したコンテンツを再生できます。

コンテンツを保存する	本ページ	再生する	本ページ

■コンテンツを保存する

サーバー

サーバーにコンテンツを保存してください。
コンテンツを保存する方法については、サーバーの取扱説明書・ヘルプをご覧ください。

> **参考例：サーバーにコンテンツを保存する**
> 55 ページをご覧ください。

USB

USB ストレージにコンテンツを保存してください。

対応サーバー
対応 USB ストレージ
63 ページをご覧ください。

Windows Media Player 11 をお使いの場合
コンテンツによっては、再生前に準備が必要です。59 ページをご覧ください。

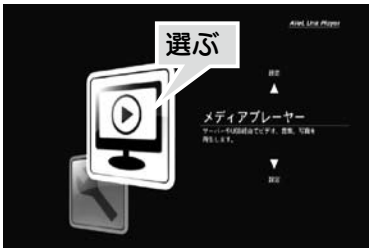
■再生する

1 サーバー / USB ストレージを起動します。
機器の電源を入れたり、サーバーソフトを起動してください。

2 リモコンの電源ボタンを押します。
⇒ 本製品の電源がオンになります。



3 ［メディアプレーヤー］を選びます。



4 再生する機器を選びます。



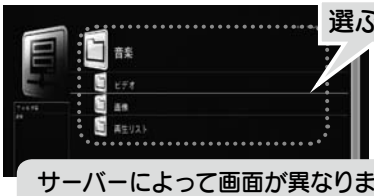
5 手順**4**で選んだ機器によって、操作が異なります。

メディアサーバーを選んだ場合

① サーバーを選びます。



② 種別を選びます。



サーバーによって画面が異なります

サーバーによって、この画面が表示されなかったり、もっと細かい種別が表示されることがあります。

USB ストレージを選んだ場合

① サーバーを選びます。



② 種別を選びます。



6 再生するコンテンツを選びます。



コンテンツリスト（46 ページ）

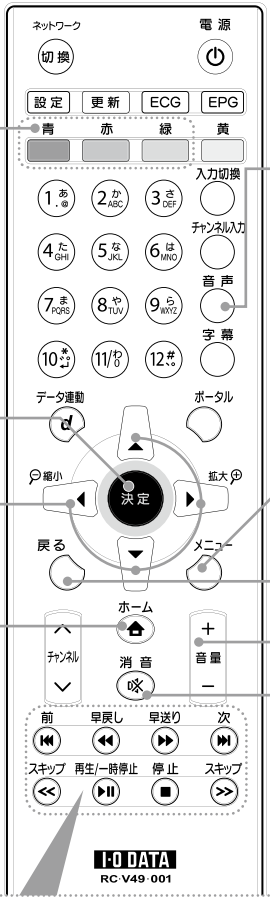
7 コンテンツが再生されます。



再生時のステータス表示（47 ページ）

動画・音楽再生中の操作について

再生モード（47 ページ）を変更します。
青：連続再生モード
赤：リピートモード
緑：シャッフルモード



音声を切り替えます。
L+R → L → R

再生 / 一時停止します。

左右で前後のコンテンツに切り換えます。

ステータス情報を表示します。

メインメニューに戻ります。

コンテンツリストに戻ります。

音量を増減します。

消音（ミュート）します。

早戻し / 早送り：コンテンツを早戻し / 早送りします。※1
一回押すたびに、再生速度が変わります。※2
（x 2⇒ x8 ⇒ x16 ⇒ x64 ⇒ x120）

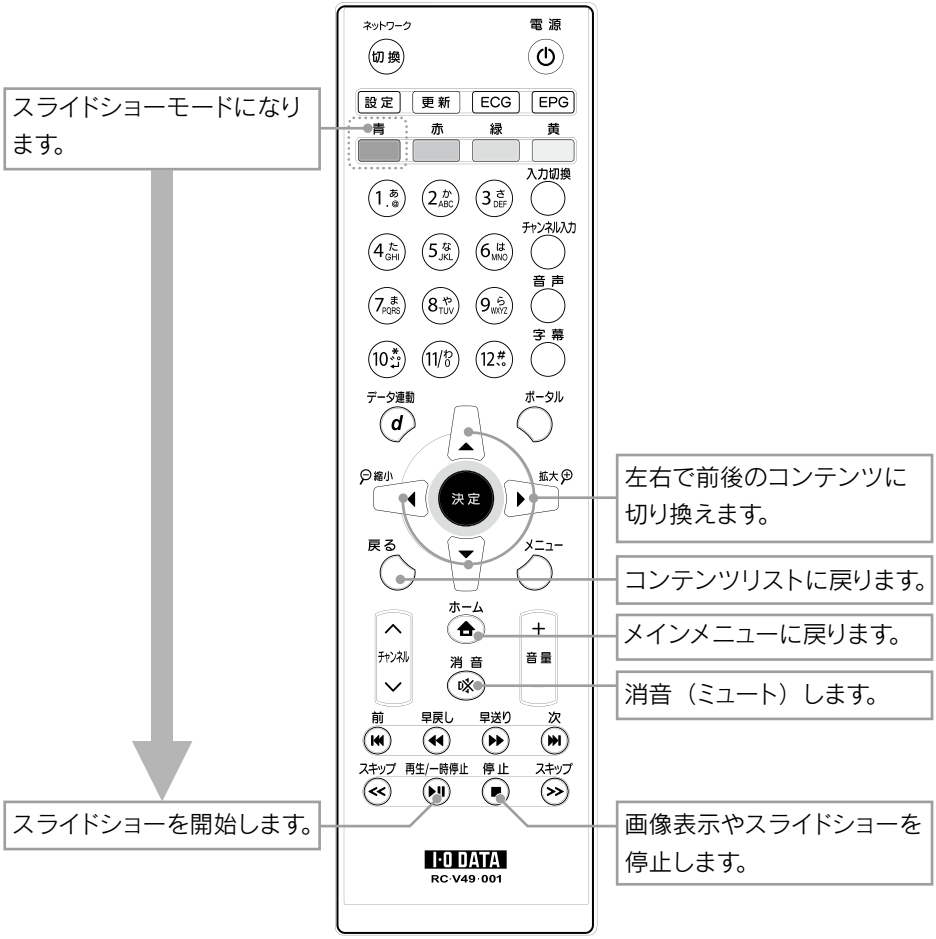
スキップ：コンテンツの再生位置を 1/10 ずつ前後に移動します。※1

再生/一時停止：再生 / 一時停止します。

停止：再生を停止します。

※1 コンテンツのフォーマットによっては未対応です。
※２８倍速以上の再生速度は後日対応予定です。

画像表示中の操作について



スライドショーの設定

スライドショーをより効果的に楽しむために以下の設定を行えます。

- エフェクト
- スライド切換時間
- BGM

これらの設定は、設定画面－メディアプレーヤーの設定（50 ページ）で行えます。

スライドショーに BGM を流す

【スライドショーに BGM を流す】（51 ページ）をご覧ください。

こんなときは…

【使ってみよう】（21 ページ）以外に、こういう操作をしたい。
そういった時には本章をご覧ください。
いざというときに必要な操作について説明しています。

ファームウェアを更新する..... 28
本製品のファームウェアを最新にすることで、常に最新の機能をお使いいただけます。

各種設定（アスペクト比、音声など）をする... 30
アスペクト比、デジタル音声、オートパワー OFF、HDMI リンク機能などを設定します。

ネットワークの設定をする..... 33
ネットワークに接続できなかったとき、こちらをご覧になりながら、ネットワークを設定してください。

ネットワークを確認する..... 34
「インターネットに接続できているか」と「ネットワークのスピード」を確認します。

設定を初期化する..... 35
本製品の設定をご購入時の状態に戻せます。

ファームウェアを更新する
各種設定をする
ネットワークの設定をする
ネットワークを確認する
設定を初期化する

ファームウェアを更新する

本製品のファームウェアを最新にすることで、常に最新の機能をお使いいただけます。ファームウェアは、以下の操作で更新できます。
（機能追加やファームウェアの更新を有償で提供させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。）

ファームウェアの更新は、時間に余裕があるときに行ってください
ファームウェアの更新には、約 20 分ほどかかります。（ご利用のネットワーク環境により、かかる時間は前後します。）
その間、本製品の操作ができなくなりますので、時間に余裕があることをご確認ください。

1 インターネットにつなぎます。
方法については、17 ページをご覧ください。

2 リモコンの電源ボタンを押します。



3 新しいファームウェアがあるか確認します。



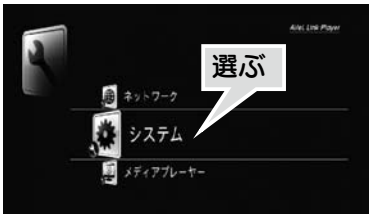
なにも表示されていない
ファームウェアを更新する必要はありません。

「アップデートがご利用可能です」と表示されている
新しいファームウェアがあります。次の手順に進んでください。

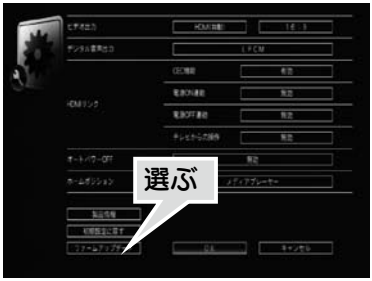
4 ［設定］を選びます。



5 ［システム］を選びます。



6 ［ファームウェアアップデート］を選びます。

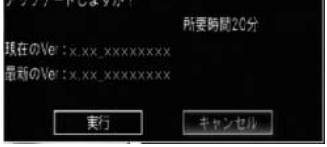


7 最新ファームウェアが検索されます。

しばらくお待ちください

8 ファームウェアを更新します。

ファームウェアのアップデート画面が表示されます。
画面の指示に従って、ファームウェアを更新してください。
ファームウェアの更新には 20 分ほどかかります。
（ご利用のネットワーク環境により、かかる時間は前後します。）
更新されたら、自動的に再起動されます。



AC アダプターを抜かない

ファームウェアの更新中に AC アダプターを抜くと、故障の原因となります。

重要な更新の場合

必ずアップデートを行ってください。
アップデートを行わない場合、本製品の電源が自動的にオフになります。

ファームウェアの更新を、定期的に行ってください

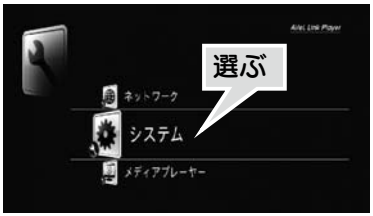
本製品を最新の機能でお使いいただくため、インターネットにつなぎ、半年に一度は最新ファームウェアの確認をお願いいたします。

各種設定（アスペクト比、音声など）をする

1 ［設定］を選びます。



2 ［システム］を選びます。



3 「オートパワー OFF」を設定します。



オートパワー OFF

本製品が操作されず再生もしていないまま 30 分経つと、自動で電源が OFF されるように設定できます。（後日対応）

4 TV とつないだ方法によって設定が異なります。

AV ケーブルで TV とつないだ場合	本ページ
HDMI で TV とつないだ場合	次ページ
光デジタルで TV とつないだ場合	32 ページ

AV ケーブルで TV とつないだ場合

「ビデオ出力アスペクト比」を設定します。



アスペクト比

映像の縦と横の比率。
なお、テレビの従来放送は 4:3、ハイビジョン放送は 16:9 のアスペクト比です。



16:9　4:3

HDMI で TV とつないだときのみ

①「デジタル音声出力」を設定します。



LPCM
音声データを変換し、2ch の PCM 音声データとして出力します。

ビットストリーム
音声データを変換しないので、コンテンツの音質のままでテレビや AV アンプに出力することができます。（後日対応）

②「HDMI リンク」を設定します。



HDMI リンク機能
HDMI で規格化されている CEC を使った機器間相互制御の機能です。HDMI ケーブルから信号を伝えることで、機器間の連係動作を行うことができます。

設定項目	説明
CEC 機能	HDMI リンクの機能を有効にするかを設定します。 また［有効］にした場合、本製品を ON にすると、テレビも ON になったり、本製品の映像が表示されたりします。
電源 ON 連動	テレビを ON にしたり、入力切換で本製品を選ぶと、本製品が ON になります。
電源 OFF 連動	テレビを OFF にすると、本製品も連動して OFF になります。
テレビからの操作	テレビのリモコンのカーソル / 決定ボタンで本製品を操作できるようになります。

※テレビの設定を変更する必要がある場合があります。
　テレビの取扱説明書の『HDMI 接続した外部機器の制御』に関する項目をご覧ください。
※テレビにより対応している機能が異なります。
　テレビがこれらの機能に対応していない場合は、機能しません。

光デジタルで TV とつないだ場合

「デジタル音声出力」を設定します。



LPCM

音声データを変換し、2ch の PCM 音声データとして出力します。

ビットストリーム

音声データを変換しないので、コンテンツの音質のままでテレビや AV アンプに出力することができます。（後日対応）

5 すべての設定が終わったら、［OK］を選びます。



ネットワークの設定をする

通常は、ルーターにつなぐだけで本製品を使えます。
ネットワークを使えなかった場合は、こちらの設定をご覧ください。

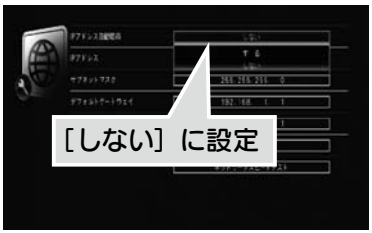
1 ［設定］を選びます。



2 ［ネットワーク］を選びます。



3 「IP アドレス自動取得」を［しない］に設定します。



4 各種項目を設定します。



詳しい方のみ設定してください

ネットワークの設定は詳しい方のみ行ってください。
IP アドレスはルーターの IP アドレスと同じものを入力し、最後の数字だけ変えてください。
サブネットマスクは変更の必要はありません。
デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー 1 はルーターの IP アドレスを入れてください。
DNS サーバー 2 は入力しません。

5 すべての設定が終わったら、［OK］を選びます。



ファームウェアを更新する
各種設定をする
ネットワークの設定をする
ネットワークを確認する
設定を初期化する

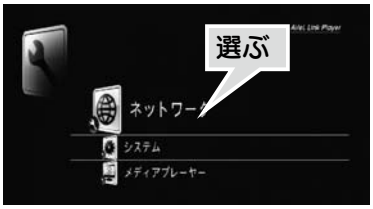
ネットワークを確認する

「インターネットに接続できているか」と「ネットワークのスピード」を確認します。

1 ［設定］を選びます。



2 ［ネットワーク］を選びます。

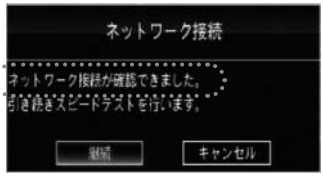


3 ［ネットワークスピードテスト］を選びます。



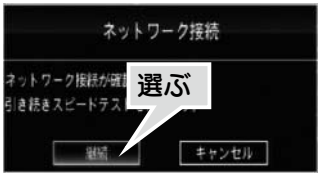
計測結果はインターネットとの接続環境の速度を測定したものです。測定結果が低い場合も、サーバーからのコンテンツ再生に問題ありません。

4 メッセージを確認します。



メッセージ文章	説明
ネットワーク接続が確認できました。	ネットワークは、正しく設定されています。
ネットワーク接続を確認できませんでした。	ネットワークに問題があります。LAN ケーブルの接続を確認してください。 また、ネットワークの設定（前ページ）を確認してください。

5 ［継続］を選びます。



6 計測結果が表示されます。



設定を初期化する

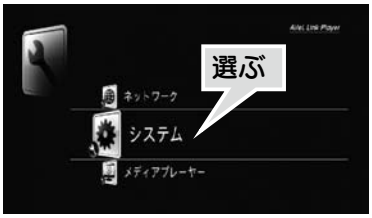
初期化する前に

初期化すると、本製品の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化後、設定をやり直してください。

1 ［設定］を選びます。



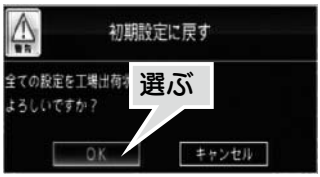
2 ［システム］を選びます。



3 ［初期設定に戻す］を選びます。



4 ［OK］を選びます。



ファームウェアを更新する
各種設定をする
ネットワークの設定をする
ネットワークを確認する
設定を初期化する

MEMO

困ったときには

本製品を使っていて問題が起きたときは、まずこちらをご覧ください。
想定される問題と、解決方法が記載されています。

本製品の電源がオンにならない..... 38
本製品の電源をオンにしても、
画面が真っ黒なまま何も表示されない..... 38
音声が出ない 38
リモコンの操作が効かない 39
Windows Media Player 11 が
サーバーとして認識されない 39
エラーが表示された 39

本製品の電源がオンにならない

○ 電源タップ、AC アダプター等、電源供給の確認をしてください。
○ AC アダプターを抜き差しして、再度電源がオンになるか確認してください。

本製品の電源をオンにしても、画面が真っ黒なまま何も表示されない

○ AC アダプターがコンセントと本製品に接続されているか確認してください。
○ 本製品の POWER ランプが青色に点灯しているか確認してください。
消灯している場合は、電源が供給されていません。
○ テレビと本製品が AV ケーブル等で接続されているか確認してください。
○ テレビが本製品をつないだ外部入力を表示するようになっているかを確認してください。

音声が出ない

○ AV ケーブルの接続を確認してください。
○ テレビの音声がミュートになっていないか確認してください。
○ 他のコンテンツを再生しても音声が出ないか確認してください。
○ HDMI か光デジタルケーブルでつないでいて、デジタル音声出力設定（49 ページ）が［ビットストリーム］に設定されている可能性があります。
この場合、再生中のコンテンツの音声コーデックにテレビや AV アンプが対応している必要があります。
対応していない場合は、デジタル音声出力設定を［LPCM］に設定してください。
※ ビットストリームは後日対応予定です。

リモコンの操作が効かない

○ リモコンの上部（信号送信部）を本製品正面に向けて操作を試してください。
○ 本製品のすぐ近くでリモコン操作を確認してください。
○ 操作できないのは特定のボタンだけかどうか、他のボタンを押して反応を確認してください。
○ リモコンの電池を交換して再度試してください。
○ 本製品を蛍光灯や直射日光などの強い光がかからない位置に設置して、反応を確認してください。
○ プラズマテレビ、ハロゲンヒーター等の赤外線を発する製品が近くにある場合は、本製品から遠ざけてください。
○ 本製品が止まってしまった可能性があります。
アクセスランプ（ACCESS）が点灯・点滅していないことを確認した後、AC アダプターを抜き差ししてください。

Windows Media Player 11 がサーバーとして認識されない

○ 【Windows Media Player 11 の設定】（59 ページ）をお試しください。
○ Windows ファイアウォールが正しく設定できていない可能性があります。
Windows ファイアウォールの設定で、「Windows Media Player ネットワーク共有サービス」を例外に追加するか、Windows ファイアウォールを無効にしてください。
○ ウィルスチェック等のセキュリティー関連ソフトがインストールされている場合、そのままではご利用いただけない場合があります。
ご利用のセキュリティー関連ソフトの取扱説明書をご覧になり、「Windows Media Player ネットワーク共有サービス」を使えるようにしてください。

エラーが表示された

○ 【エラー表示一覧】（62 ページ）をご覧ください。

MEMO

付録

その他の本製品に関する情報を説明しています。
お問い合わせ先などもこちらに記載されています。

各部の名称 42
本製品の各部の名称とその機能について説明します。

画面の詳細 46
主要な画面の各項目について説明します。

スライドショーに BGM を流す 51
画像コンテンツをスライドショー再生したときに、音楽コンテンツを BGM として流す方法を説明します。

サーバーにコンテンツを保存する 55
操作例として、弊社製 HDL-GT シリーズにコンテンツを保存する方法を説明します。

Windows Media Player 11 の設定 59
Windows Media Player 11 を本製品のサーバーとして使うための設定を説明します。

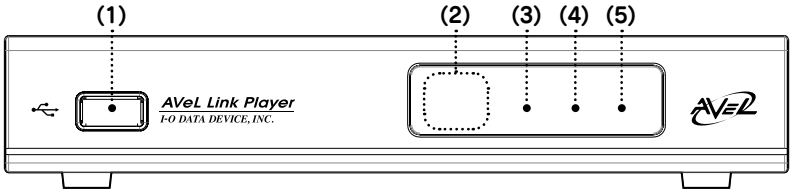
エラー表示一覧 62
本製品で表示されるエラーの一覧を案内しています。エラーが表示されたら、この一覧をご覧になり、状況を確認してください。

製品仕様 63
本製品の製品仕様を案内しています。

お問い合わせ 65
本製品をお使いの上で問題が起きた場合は、【困ったときには】（37ページ）をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

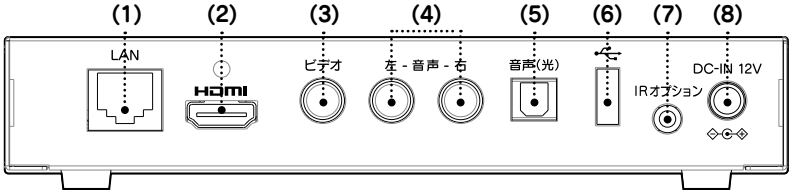
各部の名称

前面



(1)	USB	USB メモリーやカードリーダーライター、HDD などの USB 機器と接続します。
(2)	リモコン受光部	リモコン操作を受信します。
(3)	電源ランプ（POWER）	本製品の電源がオンのときに点灯します。
(4)	待機ランプ（STANDBY）	本製品の電源が待機状態のときに点灯します。
(5)	アクセスランプ（ACCESS）	本製品の内部記憶装置（フラッシュメモリ）にデータを書き込む際に点滅・点灯します。 ※データの書込みは本製品が自動的に行います。

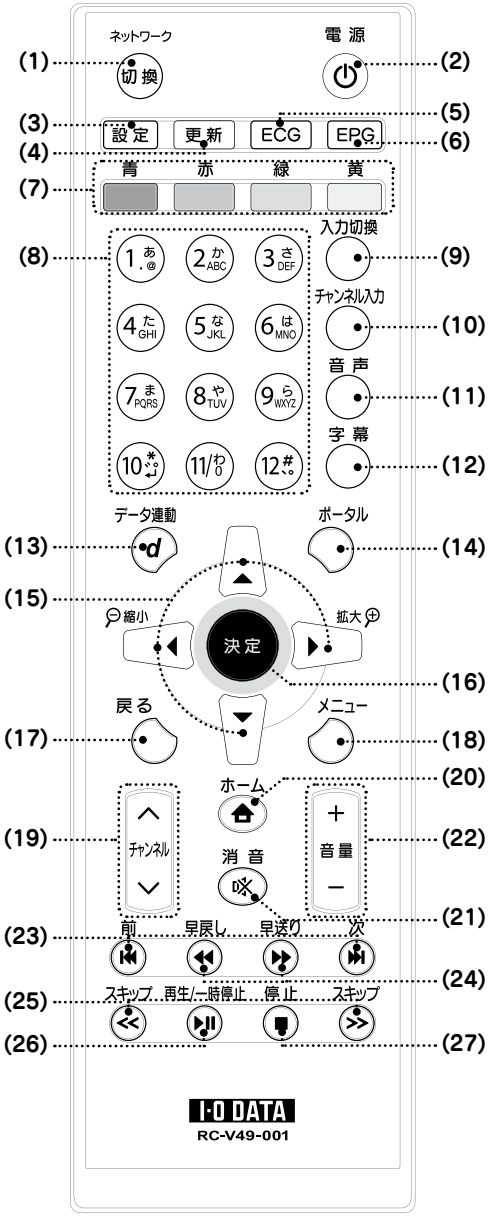
背面



(1)	LAN	ネットワークと接続します。
(2)	HDMI	HDMI 入力のあるテレビなどと接続します。
(3)	ビデオ	テレビなどと接続します。
(4)	音声	テレビなどと接続します。
(5)	音声（光）	光音声入力のあるテレビなどと接続します。
(6)	USB	USB メモリーやカードリーダーライター、HDD などの USB 機器と接続します。
(7)	IR オプション	別売の IR 受光部延長ケーブル［弊社製 AV-LS500(IR)］と接続します。
(8)	電源	添付の AC アダプターを接続します。

各部の名称
画面の詳細
スライドショーにBGMを流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

■リモコン


ネットワーク
切換
電源
(1)
(2)
(3)
設定
更新
ECG
EPG
(4)
(5)
(6)
青
赤
緑
黄
(7)
入力切換
(8)
(9)
チャンネル入力
(10)
音声
(11)
字幕
(12)
データ連動
ポータル
(13)
(14)
(15)
縮小
拡大
決定
(16)
戻る
メニュー
(17)
(18)
ホーム
(20)
(19)
チャンネル
音量
(22)
消音
(21)
前
早戻し
早送り
次
(23)
(24)
スキップ
再生/一時停止
停止
スキップ
(25)
(26)
(27)
I-O DATA
RC-V49-001

再生時以外の操作

再生時のリモコン操作
24、25 ページをご覧ください。

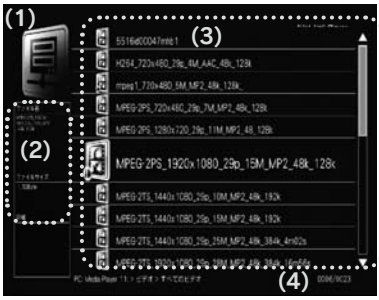
ボタン		メインメニュー時	メディアプレーヤーモード
(1)	切換 / ネットワーク	−	−
(2)	電源	本製品の電源を ON/OFF します。	
(3)	設定	−	−
(4)	更新	−	−
(5)	ECG	−	−
(6)	EPG	−	−
(7)	青 / 赤 / 緑 / 黄	−	コンテンツの再生モードを変更します。
(8)	1 ～ 12	数字を入力します。	−
(9)	入力切換	−	−
(10)	チャンネル入力	−	−
(11)	音声	−	−
(12)	字幕	−	−
(13)	データ連動	−	−
(14)	ポータル	−	−
(15)	カーソル	メニューアイコンやカーソルを移動します。	
(16)	決定	選んだ項目で決定します。	
(17)	戻る	直前のページに移動します。	
(18)	メニュー	設定メニューを表示します。	サブメニューを表示します。
(19)	チャンネル	−	−
(20)	ホーム	メインメニューを表示します。	
(21)	消音	−	
(22)	音量	−	
(23)	前 / 次	−	−
(24)	早戻し / 早送り	−	−
(25)	スキップ	−	コンテンツリスト内で 10 項目分移動します。
(26)	再生 / 一時停止	−	再生を開始します。
(27)	停止	−	−

画面の詳細

コンテンツリスト	本ページ	設定画面	48 ページ
再生時のステータス表示	次ページ		

■コンテンツリスト

再生するコンテンツのカテゴリー（ビデオ、音楽など）を選ぶと、コンテンツの一覧が表示されます。



カテゴリーアイコン


サーバーにアクセスしている状態


USB ストレージにアクセスしている状態

(1)	**カテゴリーアイコン**	選んだカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。
(2)	**コンテンツ情報**	(4) コンテンツリストで選んだコンテンツの情報が表示されます。
(3)	**コンテンツリスト**	コンテンツが一覧で表示されます。 レジューム情報がある場合は、が表示されます。
(4)	**ファイル数表示**	ファイル数が以下のように表示されます。 A／B A：選択したコンテンツの位置 B：一覧に表示されたコンテンツの数

再生時のステータス表示

以下の操作をした場合、情報が表示されます。

・コンテンツの再生を開始したとき（再生モードアイコンのみ）
・早送り、早戻し、一時停止などの操作を行ったとき
・リモコンの［メニュー］ボタンを押したとき
（もう一度［メニュー］ボタンを押すと、表示は消えます）



(1)	**再生モードアイコン**	設定されている再生モードを表示します。
(2)	**コンテンツ名**	再生しているコンテンツの種類と名前を表示します。
(3)	**再生位置バー**	コンテンツの全体時間から見て、現在再生している位置を表示します。 また、左側に「現在再生している位置」を、右側に「コンテンツの全体時間」を表示します。
(4)	**操作ガイド**	再生モードを変更するためのリモコンボタンを案内します。 ※ シャッフル再生への変更はコンテンツ再生中に行えません。再生開始前に切り換えてください。
(5)	**状態の表示**	字幕、音声、音量の状態を表示します。 ※字幕状態の表示は、後日対応予定です。

再生モードアイコン

通常再生
Play 選択したコンテンツを再生します。

連続再生
Folder Play コンテンツリストのコンテンツを順に再生します。

シャッフル再生
Folder Play-Shuffle コンテンツリストのコンテンツをランダムに再生します。

リピート再生
Play-Repeat 選択したコンテンツを繰り返し再生します。

連続リピート再生
Folder Play-Repeat 連続再生を繰り返し行います。

リピート＋シャッフル再生
Folder Play-ReShuffle ランダム再生を繰り返し行います。

設定画面

設定画面を開く

メインメニューから、設定アイコンを選びます。



メインメニューを表示する

リモコンのホームボタンを押してください。

ネットワークの設定



IP アドレス自動取得	ルーターなどによって IP アドレスを自動的に決めてもらうかどうかを設定します。
ネットワーク設定	(1) IP アドレス自動取得を［しない］に設定したときに、設定します。 設定は、ネットワークに詳しい人にしてもらってください。
ネットワークスピードテスト	インターネットに接続できているか、また十分なスピードかを測定できます。

システムの設定



アスペクト比
→ 30 ページ

LPCM
ビットストリーム※1
→ 31 ページ

ビデオ出力 アスペクト比	添付の AV ケーブルでテレビとつないでいる場合、コンテンツ再生時のアスペクト比を［16:9］［4:3］から選べます。
デジタル音声出力	HDMI か光デジタルでテレビとつないでいる場合、出力する音声の種類を［LPCM］［ビットストリーム※1］から選べます。
HDMIリンク※2	HDMI リンクに関する設定をします。
CEC 機能	「HDMI リンク」の項目全体を有効にするかを設定します。 また［有効］にした場合、本製品を ON にすると、テレビも ON になったり、本製品の映像が表示されたりします。
電源 ON 連動	テレビを ON にしたり、入力切換で本製品を選ぶと、本製品が ON になります。
電源 OFF 連動	テレビを OFF にすると、本製品も連動して OFF になります。
テレビからの操作	テレビのリモコンのカーソル / 決定ボタンで本製品を操作できるようになります。
オートパワー OFF※1	本製品が操作されず再生もしていないまま 30 分経つと、自動で電源が OFF されます。
ホームポジション	電源オン時にトップメニューで中央に表示されるアイコンを設定します。
製品情報	MAC アドレス、ファームウェアバージョンなどを表示します。
初期設定に戻す	システムの設定を購入時の状態に戻します。 動画を購入した履歴も消去されます。
ファームアップデート	ファームウェアを更新できます。

※ 1　これらの機能は、後日対応予定です。
※ 2　テレビにより対応している機能が異なります。
　　テレビがこれらの機能に対応していない場合でも設定は行えますが、機能しません。

メディアプレーヤーの設定



スライドショー		スライドショーに関する設定をします。
	エフェクト※1	画像が切り換わるときの効果を設定します。 ブラックフェードにすると、真っ黒の画面から画像がじわじわと表示されて消える形で、スライドショーが行われます。
	切換時間	画像が切り換わるまでの時間を設定します。
	BGM	スライドショー時に BGM を再生するかどうかの有無を設定します。
レジューム※2		有効になっている場合、途中まで再生した動画をまた再生する際は、前に中断したところから始められます。
Wake On LAN※1		有効になっている場合、前に再生したサーバーが見つからなかったときに、本製品からサーバーを起動できます。

※ 1 これらの機能は、後日対応予定です。

※ 2 以下の場合、レジューム情報は記録されません。

・コンテンツを 30 秒以上再生しなかった場合

・コンテンツの長さが 3 分に満たない場合

スライドショーの切換時間の設定方法

① 項目にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。

② カーソルボタンの下を押し、現在の設定時間を削除します。

③ 1～9と11/8を使って、時間を入力します。

④ 決定ボタンを押し、設定を確定します。

スライドショーに BGM を流す

画像コンテンツをスライドショー再生したときに、音楽コンテンツを BGM として流す方法を説明します。

全体の手順	本ページ	流す BGM を選ぶ	53 ページ
BGM を流す設定にする	本ページ	スライドショー再生する	54 ページ
BGM として登録する	次ページ		

全体の手順

① 設定画面で BGM を流すように設定します。（本ページ）
② 音楽コンテンツから BGM 候補を登録します。（次ページ）
③ 登録された BGM から再生するものを選びます。（53 ページ）
④ 実際にスライドショーを楽しみます。（54 ページ）

BGM を流す設定にする

1 ［設定］を選びます。



2 ［メディアプレーヤー］を選びます。



3 「スライドショー」－「BGM」を［有効］に設定し、［OK］を選びます。



BGM として登録する

1 23 ページを参考に、音楽のコンテンツリストを表示します。

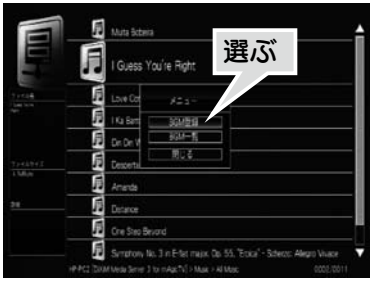
2 登録するコンテンツにカーソルを合わせます。
（決定ボタンは押しません）



3 メニューボタンを押します。
⇒ サブメニューが表示されます。



4 ［BGM 登録］を選びます。



5 BGM として登録されます。



BGM を 1 曲だけ登録した場合
その BGM が再生される設定になっています。（BGM 一覧に青地で表示される）
次ページの【流す BGM を選ぶ】を飛ばして、【スライドショー再生する】をご覧ください。

登録できる BGM は最大 10 曲です
10 曲登録された状態で次の BGM を登録すると、登録が古い順に BGM が削除されます。

流す BGM を選ぶ

1 23 ページを参考に、音楽か画像のコンテンツリストを表示します。

2 メニューボタンを押します。
⇒ サブメニューが表示されます。



3 ［BGM 一覧］を選びます。



4 再生したい BGM を選びます。
⇒ 黄色い文字になります。



5 ［BGM 設定］を選びます。
⇒ 青い文字になります。
これで設定は完了です。



BGM を削除する

ここで［BGM 設定］の代わりに［削除］を選ぶと、手順**4**で選んだ BGM を削除できます。

各部の名称
画面の詳細
スライドショーに BGM を流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11 の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

■スライドショー再生する

1 22 ページを参考に、画像のコンテンツを再生します。

2 青ボタンを押します。
⇒ スライドショーモードになります。



3 再生 / 一時停止ボタンを押します。
⇒ スライドショーが始まります。
設定した BGM が流れることをご確認ください。



サーバーにコンテンツを保存する

操作例として、弊社製 HDL-GT シリーズにコンテンツを保存する方法を説明します。

Windows Vista の場合	本ページ
Windows XP/2000/Me/98 の場合	57 ページ

Windows Vista® の場合

1 ［スタート］ボタンをクリックします。

2 「検索の開始」に「¥¥landisk」※と入力し、［Enter］キーを押します。



※ HDL-GT シリーズの名前「landisk」を変更している場合は、変更した名前を入力します。

3 検索された HDL-GT シリーズをダブルクリックします。

HDL-GT シリーズは「HDL-GT series(Landisk)」と表示されます。



Landisk が検索されない

○セキュリティー関連ソフトウェアのファイアウォール機能を無効にすることで検索されることがあります。詳しくは、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

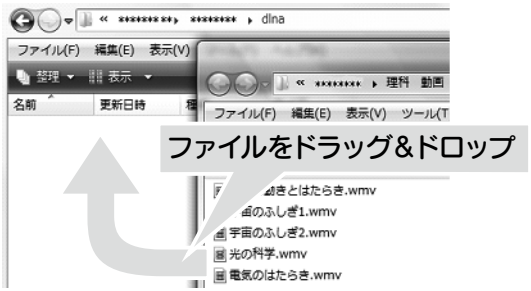
○ HDL-GT シリーズ背面の「ACT/LINK」ランプが消灯している場合、LAN ケーブルをご確認ください。

○ HDL-GT シリーズの IP アドレスでも検索してみてください。
HDL-GT シリーズの IP アドレスは「Magical Finder」画面で確認できます。

4 「dlna」フォルダをダブルクリックします。



5 手順 **4** で開いた「dlna」フォルダにコンテンツを保存します。



Windows XP/2000/Me/98 の場合

（画面は Windows XP での例です。）

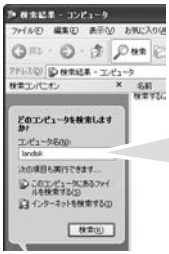
1 ［マイネットワーク］を右クリックし、表示された［コンピュータの検索］をクリックします。

Windows XP の場合、［マイネットワーク］はスタートメニューの中にあります。



2 「コンピュータ名」に「landisk」※と入力し、［Enter］キーを押します。

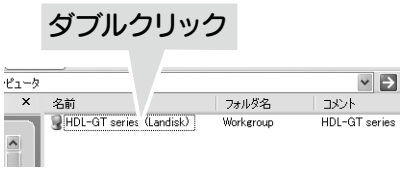
※ HDL-GT シリーズの名前「landisk」を変更している場合は、変更した名前を入力します。



各部の名称
画面の詳細
スライドショーにBGMを流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

3 検索された HDL-GT シリーズをダブルクリックします。

HDL-GT シリーズは「HDL-GT series(Landisk)」または「Landisk」と表示されます。



Landisk が 2 つ表示される

環境によっては、HDL-GT シリーズが2つ表示されます。これは、HDL-GT シリーズのファームウェアによる仕様です。
なお、表示されているどちらからでもHDL-GT シリーズにアクセスできます。

Landisk が検索されない

○セキュリティー関連ソフトウェアのファイアウォール機能を無効にすることで検索されることがあります。詳しくは、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
○ HDL-GT シリーズ背面の「ACT/LINK」ランプが消灯している場合、LAN ケーブルをご確認ください。
○ Windows XP/2000 では、HDL-GT シリーズの IP アドレスでも検索してみてください。
HDL-GT シリーズの IP アドレスは「Magical Finder」画面で確認できます。

4 「dlna」フォルダをダブルクリックします。



5 手順 4 で開いた「dlna」フォルダにコンテンツを保存します。



Windows Media Player 11 の設定

Windows Media Player 11 を本製品のサーバーとして使うための設定を説明します。

Windows Media Player 11 を用意する

Windows Vista®　：標準でインストールされています。
Windows XP　　：Microsoft 社の Web ページからダウンロードしてインストールする必要があります。

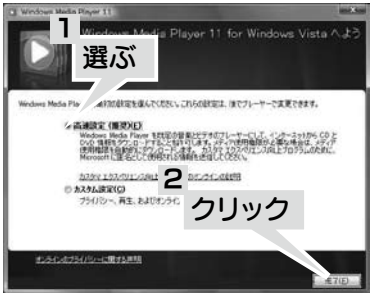
Windows Media Player 11 をお使いになる前に

WM-DRM で保護されたコンテンツを本製品で再生するには、コンテンツをパソコンで一度再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。本製品で Windows Media Player 11 のコンテンツを再生できない場合は、そのコンテンツをパソコン側で再生してみてください。

メディア共有設定（Windows Vista® の例）

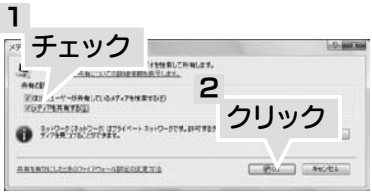
1 Windows Media Player 11 を起動します。

2 この画面が表示されたら、［高速設定］を選び、［完了］をクリックします。



3 ［ライブラリ］－［メディアの共有］をクリックします。

4 ［メディアを共有する］をチェックし、［OK］をクリックします。



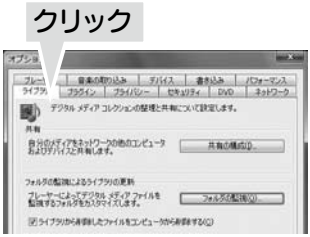
5 ［OK］をクリックします。



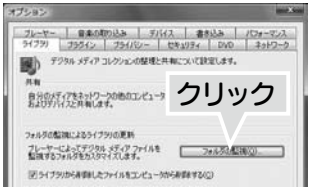
各部の名称
画面の詳細
スライドショーにBGMを流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

6 ［ライブラリ］－［その他のオプション］をクリックします。

7 ［ライブラリ］タブをクリックします。



8 ［フォルダの監視］をクリックします。



9 ［詳細オプション］をクリックします。



10 ［自分のフォルダとアクセス可能な…］を選びます。



11 ［追加］をクリックします。



12 共有するフォルダを選び、［OK］をクリックします。

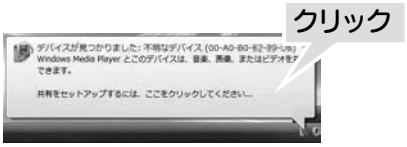
13 ［OK］をクリックします。



14 Windows Media Player 11 を終了します。

15 本製品の電源を ON します。

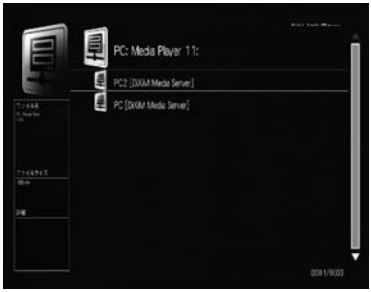
16 こんなポップアップが表示されたら、クリックします。



17 [許可] をクリックします。



18 サーバーとして表示されます。



各部の名称
画面の詳細
スライドショーにBGMを流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

エラー表示一覧

エラーが表示された際は、この一覧をご覧になり、状況を確認してください。

メッセージ	意味	対処
DLNA サーバーが見つからないか、アクセスの許可がありません。	サーバーにアクセスできなかった。	サーバーの起動状態やセキュリティー設定を確認してください。
		Windows Media Player 11 の場合は【Windows Media Player 11 がサーバーとして認識されない】（39 ページ）をご覧ください。
サーバーが起動しません。	Wake On LAN によるサーバーの起動が確認できない。	サーバーの起動状態や、本製品との接続状態を確認してください。
リスト情報の取得に失敗しました。	サーバー内のコンテンツ情報取得に失敗した。	しばらく時間をおいてから、再度サーバーを選んでください。
選択したコンテンツが取得できません。	選択したコンテンツが見つからない。	選択したコンテンツがサーバーから削除された可能性があります。
コンテンツの再生に失敗しました。	再生できないコンテンツを再生しようとした。	再生を中止してください。サーバーのコンテンツ、登録状況をご確認ください。
	再生の続行が不可能になった。	サーバーや USB ストレージや本製品の接続状況をご確認ください。
このコンテンツの再生に必要なライセンスがありません。	再生の権利がないコンテンツを再生しようとした。	再生しようとしたコンテンツの再生を中止してください。
コンテンツがありません。	選んだサーバーや USB ストレージ、フォルダ内にコンテンツがない。	サーバーや USB ストレージ、フォルダにコンテンツを保存してください。

製品仕様

インターフェイス

映像	HDMI 出力	× 1
	映像出力	× 1
音声	光デジタル音声出力	× 1
	L/R 音声出力	× 1
USB		前面× 1、背面× 1
LAN（10/100BASE-T Ethernet/RJ-45）		× 1
リモコン受光部		前面× 1、背面× 1（使いません）
電源		× 1

ハードウェア

外形寸法		170(W) × 148(D) × 29(H)mm
質量		約 640g（本体のみ）
使用温度範囲		0 ～ 35℃
使用湿度範囲		5 ～ 95%（結露なきこと）
電源	AC	AC100V、50/60Hz
	DC	DC12V
	消費電流	約 1.0A（本体のみ）

規格対応

安全規格	PSE（専用 AC アダプターにて対応）
EMC	VCCI Class B
環境規制	RoHS

対応サーバー

以下のサーバーをお使いいただけます。

- パソコン（Windows Media Player 11 がインストールされているもの）
- DLNA 準拠サーバー（DLNA 機能付き LANDISK など）

詳しくは、本製品の Web ページをご覧ください。

Windows Media Player 11 を使う

【Windows Media Player 11の設定】(59ページ）をご覧ください。

対応 USB ストレージ

USB マスストレージクラスに対応した USB ストレージをお使いいただけます。USB マスストレージクラスに対応しているかについては、各メーカーにお問い合わせください。

フォーマット	FAT16、FAT32、NTFS
消費電力	USB ポートから最大 500mA までの電力を供給します。USB ストレージの消費電力が 500mA 以上のもの（ハードディスクなど）は、電源コンセントにつないで使ってください。

詳しくは、本製品の Web ページをご覧ください。

各部の名称
画面の詳細
スライドショーにBGMを流す
サーバーにコンテンツを保存する
Windows Media Player 11の設定
エラー表示一覧
製品仕様
お問い合わせ

再生可能なデータフォーマット

カテゴリー	フォーマット	拡張子	最大画像サイズ	最高ビットレート
映像	WMV(VC1)※ Main Profile @ High Level AdvancedProfile@Level3	wmv, avi	1920 × 1080	8M bps
	MPEG-1	dat, mpg	720 × 480	5.5M bps
	MPEG-2 PS Main Profile @High Level	mpg, mpeg, vob, m2p, m2ts	1920 × 1080	15M bps
	MPEG-2 TS Main Profile @ High Level			25M bps
	MPEG-4 AdvancedSimpleProfile@Level5	mp4	720 × 480	5M bps
	H.264 MainProfile,HighProfile@Level4.0	mpg, mp4, 264	1920 × 1080	10M bps
音声	WMA9,9.1,9.2 WMA9Pro(lossless 除く)	wma		768k bps
	MP3,MPEG Audio Layer1,2	mp3, mpa		320k bps
	PCM (WAVE)	wav		
静止画	JPEG	jpg, jpeg	4092 × 4092	
	BMP	bmp	1600 × 1200	
	PNG	png	1600 × 1200	
	GIF	gif	1600 × 1200	

※ 本製品が対応するフォーマットは、WMV9 です。
WMV7，WMV8 には対応しておりません。

対応フォーマットは今後も随時追加予定です

最新の対応フォーマットは弊社 Web ページにて公開しています。

お問い合わせ

本製品をお使いの上で問題が起きた場合は、【困ったときには】（37 ページ）をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

アイ・オー・データ機器 サポートセンター	本ページ
アイ・オー・データ機器 修理センター	次ページ

アイ・オー・データ機器 サポートセンター

本製品自体の操作や問題については、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

1 【困ったときには】をご覧ください。

良くある問題の解決法が記載されています。
⇒【困ったときには】（37 ページ）

2 Web ページをご覧ください。

サポートセンターに寄せられたお問い合わせから作られた解決法が記載されています。

http://www.iodata.jp/support/

3 それでも解決しないときは

サポートセンターにお問い合わせください。

住所 〒 920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター

電話 本社 **076-260-3646**　東京 **03-3254-1036**
※受付時間 9:00 ～ 17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX 本社 **076-260-3360**　東京 **03-3254-9055**

インターネット
http://www.iodata.jp/support/

3（続き）

お知らせいただく事項

・お使いの弊社製品名
・お使いのネットワーク環境（ルーター・ハブなどの使用機器、回線種別）
・トラブルの起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

個人情報の取り扱い

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービスおよび顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

アイ・オー・データ機器 修理センター

ご依頼前に

●修理金額

・保証期間中（ハードウェア保証書で確認できます）

無料修理いたします。

※ ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

・保証期間が終了している

有料で修理いたします。

※ 弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

- 有料修理と判定した場合

往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理をご依頼いただけるかご判断の上、検討結果をご返送ください。修理をご依頼いただかない場合は、無料でご返送いたします。

※ FAX番号をお知らせいただいた場合は、修理金額をFAXでご連絡差し上げます。

準備

●メモに控え、手元に保管する

・お送りいただく製品名　・お送りいただく日時

・シリアル番号（製品に貼付されたシールに印字）

●梱包する

以下を厳重に梱包してください。※ご購入時の箱・梱包材をお使いいただくのが最善です。

・ご依頼いただく製品

・必要事項を記入したハードウェア保証書

・下の情報が記入された紙

返送先（住所 / 氏名 /FAX 番号）、日中にご連絡できる電話番号、ご使用環境（機器構成、OS など）。故障状況（どうなったか）

送付

〒 920-8513

石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ・オー・データ第 2 ビル

株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター

※ 原則として、修理品は弊社への持ち込みが前提です。発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※ 紛失などを避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- Windows® は、Microsoft® Windows® operating system の略称として表記しています。
- Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® operating system の略称として表記しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、米国特許その他の知的財産権で保護されているコピー保護技術を組み込んでいます。このコピー保護技術を使用するには、Macrovision の承諾を得なければなりません。Macrovision の承諾を別途得ている場合を除き、このコピー保護技術は、家庭での使用その他限定的なテレビ視聴での使用を意図しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブリは、禁止されています。
  This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision,and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovisionl. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

地球環境を守るため、再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK この取扱説明書はアメリカの大豆協会認定の環境に優しい大豆油インキを使用しています。

Copyright © 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.
2009/05/27 発行